

『大空町議会行政視察調査報告会』における主な質問・意見等

会 場	期 日	時 間	参加者		
			町 民	議 員	計
東藻琴ふれあいセンター フロックス集会室	平成23年2月18日(金)	18:30～21:00	17人	12人	29人
質問・意見等 要旨			答弁 要旨		
<p>きょうの視察報告会の開催は、町民からの要請に基づくものか。それとも、議会内部での検討により、行われたものなのか。</p>			<p>議会での検討によるものである。</p>		
<p>折り込みチラシなどで周知されているが、町民と議員が同数程度というのは、非常にもったいない。議員全員参加の報告会の割に、参加者が少ない。各種団体への声かけや、行政にある広報誌を活用した呼びかけが必要ではないか。触れ合いや話し合いが大事であって、視察報告にこだわらずに集まってもらえれば、議会と町民との距離が近くなるのではないか。今を見ると、議会と町民の距離が離れているように思う。それでは、いいまちづくりはできない。</p> <p>町民の意見を聞き、議会に反映させていくのが地方議員の役目と思っており、そういう機会をもっともって欲しい。たくさんの町民が参加できるような体制・方法の検討をお願いしたい。</p>			<p>貴重な意見に感謝する。</p> <p>最初の試みであり、今回の報告会を議会としても勉強させていただき、課題などを持ち帰って検討することで、次回以降の取組につなげていければと考えている。</p>		
<p>ふれあいトーク（町政懇談会）が開催されるが、今回のような形で、多くの議員各位と対話することのほうが重要ではないか。視察内容の報告だけにこだわらず、こういった町民との触れ合いの機会をもっと増やして欲しい。</p>					
<p>旧東藻琴国民健康保険診療所施設を活用し、障がいがある方向けの施設整備を進めることのように、現在、公営住宅の単身高齢世帯の方々も多く、そういった方々も利用できるような形にならないのか。</p> <p>高齢者の見守りという中で、身内の方が近くにいないと状況確認が困難でもあり、そういった福祉部分にも対応されていけばいいと考えるが、どうか。</p>			<p>平成22年度に、施設の耐震補強・改修工事实施設計が行われ、次年度予算審議未了で、どうなるかわからない部分でもあるが、平成23年度に改修等が行われていく予定。年内に工事完了、その後、所用準備等を行った上で、H24.04.01の供用開始見込となっている。</p> <p>高齢者施策において、アンケート調査計画もあるように聞いている。その結果との照合により、現行施設を活用しながら、その対策について検討されていくのではないかと考える。</p> <p>高齢者の見守り等について、気持ちは十分わかる。行政とともに、注視していきたい。</p>		
<p>視察先の道の駅について、すべて指定管理によるものなのか、一部は市が直営管理しているものなのか。</p>			<p>指定管理になっている。</p>		

『大空町議会行政視察調査報告会』における主な質問・意見等

会 場	期 日	時 間	参加者		
			町 民	議 員	計
東藻琴ふれあいセンター フロックス集会室	平成23年2月18日(金)	18:30～21:00	17人	12人	29人
質問・意見等 要旨			答弁 要旨		
<p>東藻琴地区にも、道の駅と言ってしまうのか、そういった拠点施設整備を計画しているようであるが、従来のように委員会を設けて検討するのもいいが、今回(の報告会)のようにいろいろな人の意見を聞いて、それをある程度まとめた上で、それぞれの代表が出て委員会をつくり、進める方が効率的ではないか。</p> <p>噂話が飛び交い、いろいろな情報が交錯すると、知らない人は『そこまで決まっているのか?』と、誤解をされてしまうこともある。</p> <p>冬季間、観光交流がない中でどういう方法がいいのか、広く意見を募る必要があるように思う。行政にも議会にも、共通認識を持って欲しい。テナントの話になると、女満別地域側の方々にも、一緒になって考えてもらわなければならない。</p> <p>まちづくり懇談会のメンバー、これは地域審議会とはまた別になるかと思うが、こういったメンバーになっているのか。</p>			<p>まちづくり懇談会の中で検討を重ねているというふうに聞いている。逐次報告を受けている中で、地元ニーズにマッチしたものをつくるとされているが、投資額も大きく、費用対効果だとかといった部分で、相当(懇談会の)事務局も苦労しているようである。多種多様な意見も聞くところである。</p> <p>友好町・氷川町にある道の駅では、年間60万人の利用者数、売上は6億円とのことで、北海道とは状況が違い、地域に合った形の検討が必要ではないか。御発言のとおり、いろいろな意見を聞きながら、道の駅に限らず、地域にマッチングしたいものをつくるため、もう少し検討が必要かと思っている。</p> <p>まちづくり懇談会メンバーは、各方面より17人で構成、女満別地区から2名が参加している。</p>		
<p>自治会連合会の全道研修会など、予算の関係で町担当者が随同行した実績がない。そういった研修の場での実績報告など、中身を担当職員がまったくわからないような状況がいいのかどうか。自治会連合会で担当職員随同行の申し入れをしているはずだが、予算がつかない。何かの機会に、首長へ申し入れしてもらいたい必要があるのかなと思っている。</p>			<p>極力、職員は外に出て、(議会の視察にも)同行させて、住民が満足行く形でまちづくりを進めていかなければならない。町長・管理職にもそういった形で伝えていきたい。</p> <p>また、こういった場での意見等があれば、行政側に申し入れしていきたい。</p>		
<p>東藻琴側で一番話題になっているのは、道の駅構想である。当該構想について、議会の中ではどの程度の話になっているのか。</p>			<p>直近のまちづくり懇談会での検討内容、図面案等について、産建正副委員長に提示されている。</p>		

『大空町議会行政視察調査報告会』における主な質問・意見等

会 場	期 日	時 間	参加者		
			町 民	議 員	計
東藻琴ふれあいセンター フロックス集会室	平成23年2月18日(金)	18:30～21:00	17人	12人	29人
質問・意見等 要旨			答弁 要旨		
<p>道の駅というのは、今やどこにでもある。道の駅建設の目的は、地域活性化なのか。観光なのか。それとも、雇用の場をつくることなのか。町に何が必要なのか。目的をはっきりしなければ、数年で終わってしまう。(結論を?)急がなくてもいいのではないか。将来的に残るようなものになることが望ましい。</p> <p>なぜ道の駅なのか。道の駅であれば、財政的支援があるのか。</p>			<p>道の駅ということでの財政的支援はない。</p> <p>産業建設常任委員会へ、最初に計画概要の説明がされたとき、道の駅という名称は使わないほうがいいのではないかと協議された経過もある。</p> <p>説明する際の煩雑さなどを考慮すると、道の駅が一番理解されやすいとして落ち着いたのではないかと想像するが、最終的な委員会にかかっていない。</p> <p>地域が衰退してからどうするではなく、そうなる前に取り組んでいくということが、道の駅発想の原点ではなかったかと思う。</p> <p>(地域)ニーズと合わせ、これ以上元気がなくならないような形の中で、いろいろな意見を吸い上げて、他市町村などからどんどん視察がくるような道の駅になっていけば理想的ではないか。</p> <p>まちづくり懇談会では9箇所の位置を検証し、時間をかけてじっくり検討したいという報告も受けている。</p>		
<p>東藻琴 - 女満別間の道路について、一部改良されてよくなったが、このままの状態が続くのか。合併当初、直線の道路を整備するかのような話もあったように記憶しているが、どうなのか。</p> <p>(道路の状況が)何もよくなっていないように感じる。町内なので、少しでもよくなればと思う。</p>			<p>新たな道路敷設は莫大な費用がかかる。現状の道路の危険箇所を改良・整備したいという報告は受けている。</p> <p>道道は(大成～開陽)かなり幅を広く改良している。巴沢の急カーブ・急勾配の部分も、先に計上された補正予算で対応の予定。新設は難しく、危険箇所改良での対応になる。</p>		

『大空町議会行政視察調査報告会』における主な質問・意見等

会 場	期 日	時 間	参加者		
			町 民	議 員	計
東藻琴ふれあいセンター フロックス集会室	平成23年2月18日(金)	18:30～21:00	17人	12人	29人
質問・意見等 要旨			答弁 要旨		
<p>地域で協働できる、知恵を出し合って進めるような方策をとっていただきたい。社会福祉施策についても、同じことが言える。</p> <p>基本条例検討委員会に参画させていただいているが、協働というところが浸透していない。自治会の話も挙げられていたが、町に相談しても財源がないから対応が難しいなど、細かいところへ目が行き届かない。</p> <p>みんなで知恵を出し合う仕組みを考えたらどうかと、いつも考えている。福祉施設（の整備）をやろうとしても、前さばきがないと、なかなか進まない。福祉施設は、地域があって初めて維持できる。都市では（施設運営など）財政的に賄えない時期がきて、ふるさと回帰のような形になってくるのではないか。従来の取組をもっと進めた形で、実態はどうなっているのか、一緒に考える場を設定してもらえればありがたい。</p>			<p>障がい者自立支援法の考え方の一つに、地域自立支援協議会を立ち上げ、介護・障がいの連携をとりなさい、ということがうたわれている。</p> <p>自立支援協議会は当町にもあるが、効果を果たしているか疑問なところもあるかもしれない。今後、当協議会が民生委員・行政・社会福祉協議会・特別支援学級教諭等、あらゆる分野での方策を検討していく場でもあり、真価が問われていくのではないか。</p>		